

Ⅰ 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・アサガオや夏野菜、チューリップなどの栽培活動を通して、植物が育つ場所、変化や成長のようすに関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち、大切にすることができた。
- ・保育園との入学前交流会で、1年間を振り返りながら、学校のことを伝えたり、伝えるための準備や取組を考えたりして、あたたかく優しい気持ちで1年生を迎えられた。
- ・1, 2年との活動交流（学校探検・秋探し遠足・2年おもちゃランドへの招待）を通して、伝え方や説明の仕方考えることができた。また、町探検・お店探検では、自分と社会との関わりについて学ぶことができた。

(2) 課題

- ・2年生のチューリップの水耕栽培を行ったが、室温の環境下では栽培が難しいことが分かった。また、学級園を十分に活用できなかった。
- ・保育園との交流は、1園としかできなかった。学区内にあるもう1つの園とも、入学前交流を行いたい。
- ・1年生では、学級の現状から、校外学習が十分に行えなかった。

Ⅱ 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・1, 2年生間や保育園、地域の方々と交流する活動を多く設定し、自分の成長や、身近な人々の支えがあることに気付かせるとともに、社会的に望ましい態度について学び、実行できるようにする。	・国語の書くことや、話すこと・聞くことの単元と連携し、自身や友達の気付きをより広げたり深めたりできるようにする。 ・ICT 機器を適切に利用して学級全体での交流の機会を増やし、遊びや活動を更によくしようとする工夫につなげていく。 ・学級園を十分に活用して、自分の鉢で育てるアサガオや野菜だけでなく、他の種類の植物の成長についても観察し、似ているところや違うところに着目できるようにする。	・1, 2年生間や保育園、地域の方々と交流する活動を多く設定し、自分の成長を自覚し、意欲と自信につなげられるようにする。